



令和6年度 新奥会行政視察報告

令和7年1月23日行田市・24日藤沢市◎総合計画について

奥州市では現在、令和8年度までの第2期総合計画の最終盤にかかっており、次期総合計画の策定に向けて令和7年度からその作業が動き出します。私たち新奥会は次期総合計画の策定に備え、逆に総合計画が無いパターンも知る必要があると考え、直近に廃止した埼玉県行田市と、総合計画を廃止した自治体として先駆的な神奈川県藤沢市で学ぶことができました。

行田市は総合振興計画という名前です。令和5年に第6次総合振興計画の途中でそれを廃止して、新たな基本構想を策定することとなりました。総合計画に変わる市政運営の総合指針として、市が目指す将来像とその実現に向けた重点政策で構成され、これを補完する計画として「行田市実施計画」を毎年度更新していくというのがその仕組みです。新しい行田の将来像を絵本のようなストーリー仕立てで市民にわかりやすく示し、そこに3つに絞った重点施策を掲げた、というのが特徴です。



藤沢市は平成26年に総合計画を廃止し、その代わりに市長の任期に合わせた市政運営の指針を定めて取り組んでいます。意識調査や市民アンケート、関係団体からのヒアリングなど様々な手法で課題を抽出・整理した後、目指す都市像やまちづくりのコンセプトを盛り込んだ基本方針から重点方針を決定、そして重点事業を組み立てていく、というのが特徴です。

両市とも、それまでの総合計画ではスパンが長すぎて社会情勢の変化に対応しづらいこと、策定までに多大な労力や時間を要すること、総合計画の構造が複雑過ぎて市民にわかりづらかったことなどが、廃止の主な理由でした。一方で長期的な視点で見ると財政計画上の担保をどうしていくのか、といった課題を感じましたし、どちらも総合計画廃止後に市長が交代していないため、その後の動きを経験していない不安も見えてきました。

奥州市でも総合計画の他に定めてきた総合戦略や市長が掲げる未来羅針盤プロジェクトがあり、それをどう次期総合計画に落とし込んでいくのか。令和7年度にしっかり調査・議論した上で、次の任期に引き継いでいけるように取り組んでまいります。

令和7年1月24日宇都宮市◎ジャズのあるまちについて

ジャズミュージシャンの渡辺貞夫の出身地と言うこともあり、地域の音楽活動が盛んでジャズ演奏家や評論家と言った人材の輩出があることから、まちづくりにつながっていました。ジャズの普及による文化的つながりから商業的なつながりもみられました。

当市においても、大滝詠一の出身地でもあり音楽の盛んな地域でミュージックバーが点在することから、音楽がまちづくりの活性化につながればと言うことで、その先進地域でもある宇都宮市を訪問しました。宇都宮市では文化活動や教育の現場でも音楽に触れる機会を設けており、ストリートジャズ等も行い、地域、市民にとって音楽は身近なものとして感じているように感じました。当市においても商業・観光振興や文化活動の一環として音楽を盛り上げていけると、まちなかの活性化や文化交流としても効果が大きいと期待できると感じました。



20周年記念事業
「書籍：宇都宮とジャズ」発刊 (R6.3月)

新奥会議員活動報告

会長
小野 優
(47歳)
水沢秋葉町
建設環境常任委員
議会運営委員長
議会広報公聴委員会
岩手県競馬組合議会議員



早稲田大学マニフェスト研究所による議会改革度調査では、高い評価を得ている奥州市議会ですが、それに安穩としている議員は一人もいないと思っております。現在、議会運営委員会委員長の職を賜り、議会基本条例の検証作業を進めているところですが、市民にとってより良い議会としてのあるべき姿を引き続き模索していきます。

一般質問では**空き公共施設の活用や地区センターについて、災害時の対応や雇用・事業承継**などを取り上げてきました。空き公共施設の活用は関心度の高い分野ですが、これまでは廃止が決まってから次の展開を考えるケースが多く、予定が決まっている以上先んじて取り組みを始めることを求めてきました。災害時の対応に関しては、10月に実際に能登半島に足を運び

現地の様子を見てまいりました。奥州市は広大な面積を有しますが、だからといって災害廃棄物を無尽蔵に仮置できるスペースがあるわけでもありません。また土地勘の無いボランティアを受け入れる体制というの準備しておく必要があります。東日本大震災のときに比べ技術的な進歩もありますが、復興作業に係る時間は膨大であり、平時からの想定がいかに重要であるかを感じました。

令和7年4月からはこれまで何度か取り上げてきた、**パートナーシップ・ファミリーシップ制度**がようやく奥州市でもスタートします。生きづらさを感じてきた人の心が少しでも和らぐことを願います。

副会長
高橋 晋
(62歳)
江刺豊田町二丁目
産業経済常任委員会
副委員長
議会改革検討委員長
国際リニアコライダー誘致
推進議員連盟幹事



6月議会一般質問では、「**閉校した学校のピアノや文化財の管理**」を質しました。統合先の学校等へ移管。更に地区振興会を対象とした譲渡会を開催。備品、本は資源物として、ピアノは業者に売却。文化財等は歴史遺産課が収集。一部は市のホームページで公開しているとのこと。

また、「**公共施設予約システムの現状と課題**」について質した。運用面の統一や申請から支払いまでオンラインで完結するサービスに向けて改善していくとの答弁。

12月議会一般質問では、**新医療センター**について質した。奥州医師会が行った「**新医療センター整備基本計画中間案アンケート**」は、**63.3%が「賛成できない」と回答**。住民投票を考えた方がよいのではと質しました。

また、「**江刺に文化交流機能を備えた複合施設整備**」を質しました。奥州市文化会館とその他の文化会館では、利用料金や減免基準に相違があり、利用料金や減免基準の見直しを検討するとのこと。「**文化芸術推進基本計画**」を作成すべきと質しました。市長が変わっても揺るぎない文化活動が推進できるよう、関係部署と相談しながら前向きに検討すると答弁。

議会改革検討委員長として、**議会改革度ランキング全国2位**に相応しい改革を進め、令和7年度には結果を出したいと思えます。

水沢江刺駅の発車メロディが、今年の10月で5周年を迎えようとしている中、3月17日より**江刺地域の防災行政無線の正午チャイムが、大滝詠一の「君は天然色」に変更**になりました。

幹事長
及川 春樹
(55歳)
水沢羽田町字明正
建設環境常任委員会
副委員長
議会運営委員
市政調査会副会長
奥州金ヶ崎行政事務組合議会議員
国際リニアコライダー誘致
推進議員連盟幹事長



今年**東北新幹線水沢江刺駅開業40周年**です。エリアプロジェクトも検討が始まり、当時尽力された方々の思いを背負い、今後の進捗を注視していきます。

北上川無堤防地域に関して、**早期着工は地域の声**ですので、市長はじめ担当課、当該地区議員と共に「**北上川治水対策**」「**国道4号線東バイパス整備促進等**」について、7月12日に国土交通省をはじめ関係省庁等の中央要望をして参りました。未計画の地域もあり、これまでと同様に努めてまいりたいと思えます。一般質問は以下のように致しました。

- 6月定例会**
「**民間企業との連携について**」
①「**行政と民間企業の連携方策について**」
9月定例会
「**市の医療施策について**」
①「**収支見込みについて**」
②「**県や民間病院との関係性について**」

2月定例会

「ふるさと納税寄付金の教育長枠の創設について」

- ①「**小中学校の施設・設備の老朽化における現状と課題について**」
- ②「**教育長枠の創設について**」

「新医療センター建設計画について」

- ①「**計画の詳細について**」
- ②「**運営体制について**」

奥州金ヶ崎行政事務組合議会議員として、以下について質問しました。

「水道用水供給事業について」

☑**危機管理対策について**

「次期経営戦略について」

☑**重点項目について**

建設環境常委員会の副委員長として「(仮)ごみの減量化」についての政策提言に向けて進めています。

市政調査会の副会長として、議員のなり手不足についての調査研究を進めています。

特集・奥州市の医療はどうあるべきか！

令和6年1月に奥州市新医療センター整備計画が策定され、以降、奥州医師会等との医療懇話会や市民説明会、新医療センターに関するシンポジウムが開催されました。その中で市立病院経営の維持と見直し、医師の確保策、整備推進の詳細の明確化、建設コスト負担への懸念等があげられました。我々新奥会では、今までの経緯を整理し、市民の皆様の検討材料になればと思っています。

また、奥州医師会様より、「新医療センター整備基本計画中間案に関するアンケート」の結果を提供いただきました。感謝申し上げます。併せて参考にしていただければと思います。



◎奥州市新医療センター整備基本計画中間案に関する市民説明会の各地の様子（奥州市公式YouTubeより）

	2024年 9月10日（火） 胆沢総合支所		11日（水） 前沢総合支所
	12日（木） 衣川健康福祉センター多目的ホール		13日（金） 江刺総合支所
	20日（金） 市役所本庁舎講堂		21日（土） 水沢地区センター

◎新医療センターに関するシンポジウムの様子

2025年（奥州市公式YouTubeより）
2月24日（月）
奥州市文化会館（Zホール）大ホール



1. 地域の現状（本県、胆江地区）

奥州市では合併時に約13万5千人の人口を有していましたが、合併以降人口減少基調に入り、2025年1月31日時点で10万7651人となっており、2040年には8万3273人、2050年には6万9375人の予測となっています。

年齢階層	国勢調査		将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所 2023年12月推計）				
	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
年少人口（0～14歳）	23,610	20,820	18,802	16,828	14,759	12,617	10,788
生産年齢人口1（15～39歳）	36,678	34,299	31,905	29,539	26,036	22,878	20,190
生産年齢人口2（40～64歳）	40,123	39,833	38,439	36,668	35,891	34,866	33,223
高齢者人口（65歳以上）	21,787	23,029	23,730	23,527	22,609	21,203	20,801
総人口	112,937	105,442	97,749	90,363	83,273	76,276	69,375

参照：地域医療システム

高齢化社会で今後増加が見込まれる医療会議需要予測指数としては2030年をピークに以降減少すると予測されています。

表1 医療会議需要予測指数（2020年実績=100）

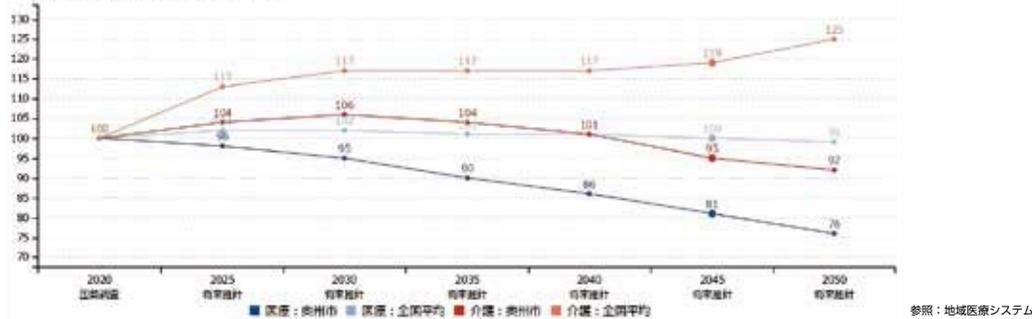
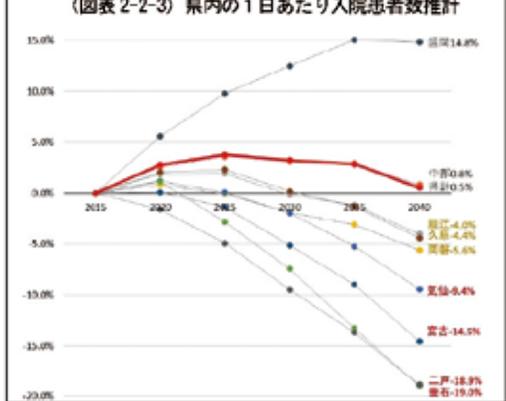


表2 (図表2-2-3) 県内の1日あたり入院患者数推計



胆江圏での入院患者数も2025年をピークに、以降減少基調に入ると予想される。また1日あたりの外来患者数は既に人口動態と同調して減少しています。

2. 奥州市の医療の現状と課題

令和5年度奥州市立病院・診療所経営強化プラン点検・評価調査から指摘されています。

- ①医療収益の90%以上が給与費
- ②病院・診療所のダウンサイジング、合併統合、サテライト化
- ③高齢者救急の受入体制の強化、在宅医療の体制強化
- ④他の施設の病床を廃止し1ヶ所にまとめるなど
- ⑤現実には則した目標値の設定
- ⑥ローテーションで医師がほかの施設で診察
- ⑦魅力ある病院づくり

参照：令和7年2月24日「新医療センターに関するシンポジウム」八幡平市立病院統括院長・全国自治体病院協議会長 望月 泉 氏

3. 総合水沢病院（経営状況）

水沢病院の医療収益は平成28年度から減少しており、入院・外来ともに収益が低下しています。給与費は平成29年度より減少しているものの、医療収益に対する給与費の割合を示す給与率は上昇傾向となっています。そのため医療利益は平成28年度から令和4年度までにおいて約5億円から約10億円の赤字で推移しています。

医療外収益・費用を加えた経常利益・当年度純利益は平成29年度までは黒字、平成30年度から令和2年度までは赤字、令和3年度以降はコロナ対応に対する補助金等により黒字となっていますが、新型コロナウイルス感染症が平常化した以降は**厳しい状況が続くと想定**されています。

参照：奥州市立病院・診療所経営強化プラン（令和5年度～令和9年度）令和6年3月 奥州市

平成26年度に稼働率は90%を超えていますが、年々入院患者数が減少しています。加えて職員1人あたりの患者数も減少しています。表2の岩手県保健医療計画が示す通り減少基調になっています。

表4 水沢総合病院 年延入院患者数の推移

総合水沢病院	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
一般入院1日あたり平均患者数	132人	137人	127人	123人	101人	73人	52人	48人	40人	45人
稼働率	91.4%	91.2%	85.2%	87.9%	69.8%	50.5%	33.9%	33.0%	27.7%	31.0%
医師数	18	19	20	19	13	14	13	10	10	12
年延病床数	一般 53070 (145床×365日)									

資料：奥州市病院事業の決算 各年度業務量から作成

表5 水沢総合病院 職員1人1日当たりの患者数

総合水沢病院	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
入院	7.4	7.0	6.4	6.3	6.4	5.1	4.1	3.7	3.2	3.6
外来	14.0	12.8	12.0	12.0	13.0	11.0	12.3	13.1	12.7	12.7
計	21.4	19.8	18.4	18.3	19.4	17.4	15.1	16.0	16.3	16.3
看護職員	入院 1.3	1.2	1.2	1.2	1.0	0.8	0.5	0.5	0.4	0.5
外来 2.4	2.3	2.2	2.3	2.1	1.9	1.4	1.6	1.8	1.7	
計 3.7	3.5	3.4	3.5	3.1	2.7	1.9	2.1	2.2	2.2	

資料：奥州市病院事業の決算 各年度業務量から作成

4. 市の財政予測と新病院資金シミュレーション

市の財政予測は令和7年度、歳入額662億円の予定で、令和18年度には483.9億円まで人口減少と共に減少していくと予想されます。

加えて単年度不足額が予想され、財政調整基金の基準財政規模10%以上の確保と、地方債残高も歳入規模に併せた償還が必要になります。

表6 (単位：億円)

区分	令和7	令和8	令和9	令和10	令和11	令和12	令和13	令和14	令和15	令和16	令和17	令和18
歳入総額	534.2	528.2	523.9	519.9	513.9	507.3	491.2	482.6	483.9	483.4	483.4	483.9
歳入増減	124.3	123.9	123.8	122.2	121.3	121.1	118.4	118.9	118.4	118.4	118.4	118.4
地方債	179.0	177.4	174.9	173.0	170.4	168.3	168.0	167.0	167.0	166.7	166.7	166.7
地方債増減	107.6	107.3	106.0	105.6	104.6	104.6	104.6	104.6	104.6	104.6	104.6	104.6
地方債	54.0	48.5	46.1	44.3	37.9	33.9	31.7	28.7	26.7	25.7	25.7	25.7
その他	69.4	71.1	70.1	68.9	68.3	65.3	63.4	66.2	66.2	66.2	66.2	66.2
歳入総額	553.3	547.3	543.0	538.0	532.4	516.3	498.8	498.4	498.4	498.4	498.4	498.4
歳入増減	242.5	238.3	234.1	229.6	224.8	221.6	218.5	218.5	218.5	218.5	218.5	218.5
地方債	57.0	54.2	52.7	51.2	42.4	37.1	28.7	26.7	26.7	26.7	26.7	26.7
その他	253.8	254.8	259.2	257.2	255.2	251.6	249.6	249.6	249.6	249.6	249.6	249.6
歳入総額	61.9	61.9	61.9	61.9	61.9	61.9	61.9	61.9	61.9	61.9	61.9	61.9
歳入増減	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1
地方債	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0
その他	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0

参照：奥州市財政計画（令和2年度～令和18年度）令和2年6月 全訂版 財務部財政課

また、奥州市健康こども部・医療局経営管理部から示された、新病院資金シミュレーションでは2030年に開業後数年後に資金ショートの可能性が高い。（病院利用率80.0%で2034年、89.0%では2040年に予想される。年度内借入れや市の一般財源からの繰り入れが予想され、財政的な健全経営の維持に疑問が残る内容となっている。）

表7 新病院の資金収支シミュレーション（病院利用率80.0%で試算）※95年計画では67.4% (単位：百万円)

項目	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039
収入	112	113	114	115	116	117	118	119	120	121
支出	2,747.8	2,731.6	2,717.2	2,700.9	2,685.9	2,660.2	2,633.3	2,603.4	2,570.2	2,533.2
差額	-2,635.8	-2,618.3	-2,603.8	-2,589.4	-2,574.3	-2,558.6	-2,542.5	-2,525.9	-2,508.8	-2,491.2
収入	25.6	25.6	25.9	40.2	85.3	118.6	118.6	118.6	118.6	118.6
支出	51.2	51.2	51.7	80.5	170.6	237.1	237.1	237.1	237.1	237.1
差額	-25.6	-25.6	-25.8	-40.3	-85.3	-118.6	-118.6	-118.6	-118.6	-118.6
収入	7.1	-0.0	-17.3	-45.1	-101.3	-159.2	-147.1	-134.8	-122.7	-109.1
支出	7.1	3.1	-14.7	-44.8	-101.3	-169.3	-169.3	-169.3	-169.3	-169.3

資料：奥州市立病院・診療所経営強化プラン（令和5年度～令和9年度）令和6年3月 奥州市

表8 新病院の資金収支シミュレーション（病院利用率89.0%で試算）※95年計画では74.9% (単位：百万円)

項目	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039
収入	112	113	114	115	116	117	118	119	120	121
支出	2,869.8	2,851.3	2,835.9	2,818.6	2,802.7	2,784.0	2,762.2	2,738.4	2,712.8	2,722.8
差額	-2,757.8	-2,738.3	-2,721.5	-2,707.1	-2,694.1	-2,680.4	-2,666.4	-2,652.2	-2,637.8	-2,623.2
収入	25.6	25.6	25.9	40.2	85.3	118.6	118.6	118.6	118.6	118.6
支出	51.2	51.2	51.7	80.5	170.6	237.1	237.1	237.1	237.1	237.1
差額	-25.6	-25.6	-25.8	-40.3	-85.3	-118.6	-118.6	-118.6	-118.6	-118.6
収入	104.9	90.9	78.3	50.1	-0.0	-48.6	-54.1	-62.5	-71.0	-77.9
支出	104.9	119.7	223.9	324.0	317.3	273.7	217.6	155.1	84.1	8.1

資料：奥州市立病院・診療所経営強化プラン（令和5年度～令和9年度）令和6年3月 奥州市

5. 建設コスト

当初、建設費は約50億円程度で始まった計画ですが、人件費や材料費の高騰等が見込まれ、現時点では109.7億円が案として示されています。また周辺道路整備3.5～7.8億円、現病院解体費が16.7億円～22.9億円となっています。約30年にわたって市の負担と新医療センターの各会計から毎年約1億円の拠出予定であり、資金収支シミュレーションからは、その健全性に疑問が残ります。

表9 建設コスト

区分	中国家の数値			経費増（修正前）		修正後（修正率・削減率）	
	新病院	コミュニティ施設	計	計	新病院	コミュニティ施設	計
建設工事費	58.1	16.9	75.0	87.6	62.7	20.5	83.2
外構工事費	3.4	1.0	4.4	6.6	5.0	1.6	6.6
設計監理費	3.1	0.9	4.0	5.9	3.3	2.6	5.9
医療機器・備品	8.0	0.2	8.2	8.2	8.0	0.2	8.2
システム導入費	2.0	0.0	2.0	2.0	2.0	0.0	2.0
移転運搬費ほか	1.8	0.6	2.4	3.9	2.9	0.9	3.8
総計	76.4	19.6	96.0	114.2	83.9	25.8	109.7
国庫補助金	12.0	6.1	18.1	20.3	12.0	8.0	20.0
地方債	59.6	11.9	71.5	85.8	66.3	15.5	81.8
一般財源	4.8	1.6	6.4	8.1	5.6	2.3	7.9

◎参考値として周辺道路整備費と現病院撤去費を追加
・概算で周辺道路整備費が3.5～7.8億円、現病院撤去費が16.7～22.9億円。

各診療科の詳細や、コミュニティ棟の詳細、スタッフ用の駐車場についての説明が無く、上記に指摘された各課題の解決策は見込みが不確実と考えます。「地域医療懇話会からいただいた主な意見ですが、複数の医師の委員から完成後の安定経営に対する懸念であるとか、医師確保の困難などを理由とした建設反対の意見、更に整備場所への異論なども頂戴している。」（令和6年度第1回胆江圏地域医療連携会議議事録）とあり、若手県医師会、奥州保健所、奥州医師会等と奥州市の医療の在り方について議論を深め、市民への丁寧な説明とその根拠について明確にしていく必要性を感じます。

我々の任期もあと1年を残すのみとなりました。倉成市政が打ち上げた「未来羅針盤図」は、1年前から少しずつ動き出しましたが、この羅針盤には期限が示されていません。どれから始めるのか順番もわかりません。できるところから始めているのでしょうか、行き当たりばったり感が否めません。もっと市民に寄り添い市民のための羅針盤であってほしいものと、この一年間感じました。市民の皆様はいかがでしょうか？
課題は山積しております。我々新奥会は、市民の皆様の声に寄り添い、残りの任期を全うして参ります。引き続きご支援のほどよろしく申し上げます。

					
---	---	---	---	---	---

- | | | | | | |
|----------------------------|-----------------------|--------------------|-----------------------|-----------------------|--------------------|
| 会報Vol.1
◎私たちの地域医療の今日と明日 | 会報Vol.2
◎奥州市の財政の今後 | 会報Vol.3
◎雪害被害報告 | 会報Vol.4
◎4年間を振り返って | 会報Vol.5
◎新たな議員を迎えて | 会報Vol.6
◎行政視察報告 |
|----------------------------|-----------------------|--------------------|-----------------------|-----------------------|--------------------|

編集を終えて